

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

### 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 難聴者・中途失聴者支援の充実に要望

全国聴覚障害者情報提供施設協議会の27年度の総会、施設大会が山口市で6月3日、4日開かれ、当センターからも3名出席した。昨年全国48番目にオープンした佐賀に続き、宮城県、愛知県、京都府が開設された。

今回中心議題となったのは、①対象人数やニーズが圧倒的に多い難聴者・中途失聴者に対して当センターが行っているような言語聴覚士など専門職の配置による聞こえの相談、ピアカウンセリング等の支援の充実にいかにしたらできるか。②障害者差別解消法の施行が来年4月に迫っているが、情報提供施設として人材の確保等を含めて情報保障を具体的にどうしていくかなどで、3年目の総会と比べると大きな転換を感じました。①については、12月の九州ブロック会議でもさらに中身をつめることとされました。



### 第1回運営委員会開催



### 社会参加促進事業

伊万里市の名村造船所を見学

5月18日



“この写真に注目”

AR(拡張現実)を使用しています。

聴覚障害者 27 名が参加。全員が名村造船所の見学は初めて。活発な質問が飛び交いました。名村造船所は空前の受注をかかえられて超活況、敷地いっぱいバラ積船やタンカーのブロックが製作され岸壁では艀装作業が行われていました。

次に伊万里市からの架け橋で続いている長崎県福島町の福島歴史民俗資料館に行き、現在世界遺産登録予定の軍艦島と同時期に炭鉱で栄えた町の歴史を学び時代の流れを感じました。

本年度1回目のセンター運営委員会が(委員長芳野佐賀大学文化教育学部教授)5月27日に開催されました。26年度の利用者の実質事業報告、27年度事業計画等について論議されました。27年度は、前年度の課題①利用者が佐賀市及び周辺市の在住者に限られていること。②統一試験合格に向けての各種講座のあり方③唐津市の支援センター「りんく」での月例相談会の開催等を踏まえて、各種事業の充実に努めることとしました。また運営委員のユニバーサルサウンドデザイン(株)中石社長から、8月発売予定のワイヤレス方式のCOMU00Nの商品紹介がありました。

### 軽度・中等度難聴児 補聴器購入費助成へ

身体障害者手帳が交付にならない両耳の聴力 70dB 未満の難聴児に対して、6月県市町議会に補聴器購入費に対して助成する補正予算が提案されました。これまで数年要望されていましたが、3月21日に山口知事さんがセンターで幼稚園年中から高一までの5名の難聴児と保護者から直に学校や生活面で困っている実情を聞かれたことをきっかけに今回の補正計上となりました。

### 共栄火災保険本社広報室長 ビーバーバルーンクラブ視察

6月7日今年初夏の最後のフライト時にセンターのパイロット養成事業をビーバーバルーンクラブのスポンサーである共栄火災保険の本社小川広報室長さんら4名が視察されました。

### 全国手話研修センター

### 黒崎信幸理事長講演会

手話通訳派遣登録者、養成講座担当講師、通訳者養成講座受講生計 22 名が参加。聴覚障害者を取り巻く背景について江戸時代の階級制度から現在までを、ご自身の体験を交え豊かな言語で話され、通訳者にとってこれから何を目指し、それに必要な学習は何かを学びました。これからの学習意欲に繋がる有意義な講演会でした。



### 要約筆記者養成講座スタート

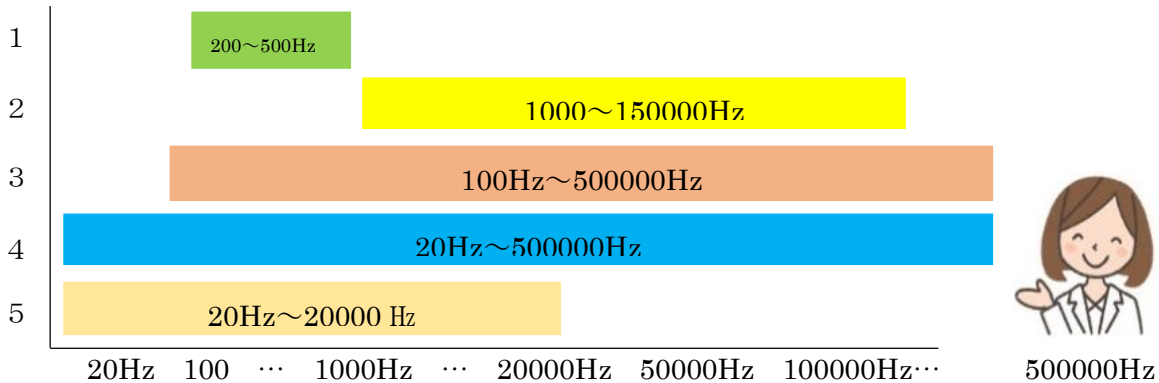
6月3日(水)より17名の受講生で講座が始まりました。来年10月28日までの長期間を全員で修了し、2月の統一試験を目指しましょう。



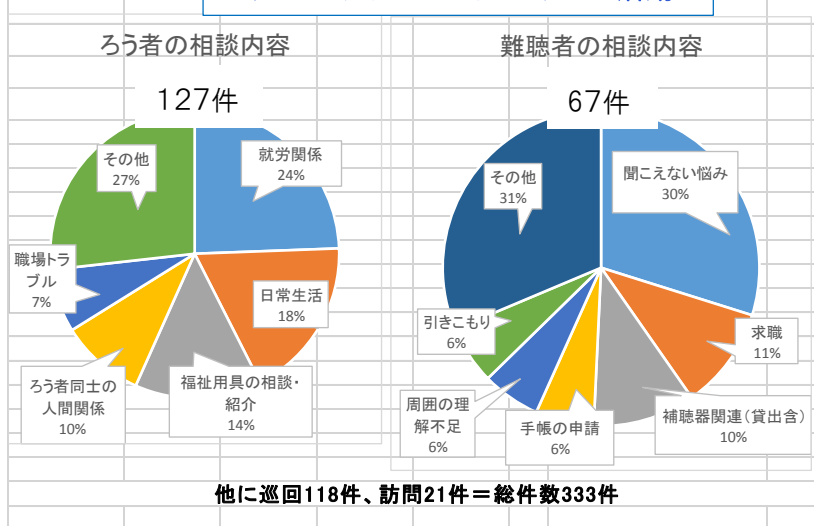
## 聴こえの仕組みシリーズ 12

今月は「動物の可聴周波数域」についてです。音の高さ、ヒトの可聴周波数について先月お話をしました。ヒトの可聴周波数は 20～20000Hz です。20Hz 以下で聞き取れない音を超低周波音と言い、公害問題で扱われる時は超低周波騒音と呼ばれます。20000Hz 以上の聞き取れない音は超音波と呼びます。時々、聴こえの相談を受けていると「超音波が聞こえません。」と相談されることがあります。超音波は聞こえない音ですから今月のお話を読まれた皆さんは間違えないようしっかり覚えておきましょう。下のグラフはある動物の可聴周波数範囲を表しています。どんな動物だと思いますか？答えは下に載せています。

【ヒント:ヒト 金魚 イルカ コウモリ 猫 犬 ライオン】



## シリーズ グラフにみるセンターの活動



## 聴覚障害者とICT(情報通信技術)No. 9

アプリ名「筆談パット」

手で文字が書けるアプリです。このアプリの特徴は2画面表示になっていることで、対面しながらお互いに文字を書いて話ができます。iPhone と iPad で、無料で利用できるアプリです。



## 知事表彰祝賀会

5月14日、手話の南里トミエさん、要約筆記の山津美智子さんの県政功労賞授賞祝賀会がセンター主催で開催。関係者が、お二人の長年の労をねぎらいました。10人以上が各国の民族衣装を着て彩りを添えました。お二人とも長年に渡り情報保障等に務められました。

第30回全国聴覚障害者

写真コンテスト

第2部課題写真部門「手話」入選

黒髪育美 つたえたい

平方由佳里 なかよし

## 公立文化施設情報保障調査

三重津海軍所跡が世界遺産への「記載」勧告を受けたことにより、佐賀県に多くの観光客や聴覚障害者が訪れると予想され、県内の公立文化施設が聴覚障害者に対してどのような情報保障が行われているのか調査を始めました。

## きこえのセミナーを開催

スターキー池田補聴器 アメリカ本社所属の池田マサキ氏から、耳のしくみや補聴器を使いこなすコツなどを、詳しく解説して頂きました。質疑応答や個別相談の時間には、30名の参加者と、盛んに質問や相談が交わされ、日頃の疑問や不安を軽減されていました。

会場は、赤外線補助援助システムを用いて、きこえに不安のある方々から、「講義内容が聞きやすかった」と、大変好評でした。

答え 1金魚 2コウモリ 3猫 4イルカ 5ヒト

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

＜開館時間＞

9:30～18:00

9:30～20:00(水曜)

＜閉館日＞

毎週月、祝日、年末年始